



機械に触れる環境を整えています。
機械と人だけでなく、働く空間にも着目して、
工場の改善も進めてきました。
以前は工具も機械も作業者が各自で管理してお

内海 和浩氏 (うつみ かずひろ)

出身地:府中市
卒業大学:帝京大学
東京証券株に入社後、内海機械へ就社
趣味はドライブ、音楽鑑賞・読書

株式会社内海機械

所在地(本社): 府中市鵜飼町743-1
TEL:0847-45-6300
FAX:0847-45-6400
設立:1949年4月1日
資本金:4,980万円
URL:<http://www.utsumi-kikai.co.jp>

り、引き出しの中に工具が散乱ということがあり
ました。これでは必要な工具がどこにあるのか分
からず、探す時間が多く発生したり、見つからず
に余計に注文するといったことが多発していました。
そこで、5S(整理、整頓、清掃、清潔、態
の考え方を学び、導入を決意しました。工場内を
見ていただいたら分かりますが、3定(定品、定
位置、定量)、見える化、からくり改善、16大口
スの改善に取り組み、ショールームのような工場
を実現しました。
ひろしま産業振興機構が行う「イノベーション
インストラクター育成塾」の認定工場として、塾
生の現場実習を受け入れています。外部から見学
に来られ、社員全員が現場の「見える化」を意識
することで明るく美しいショールームのような工
場をキープしており、この取り組みはより働きや
すい環境を保つことだけでなく、業界スタンダー
ドになると信じています。
徹底的に実践することで、半年で生産性が平均



130%強アップしました。
これはお客様からも大好評で、信頼性の構築に
大きな影響を及ぼすことを確信しました。
工場見学を受け入れることで、自社の取り組み
が宣伝ツールとなり、外部から高い評価をいた
くことができました。社員全員がさらなる5Sを
推進するために、率先垂範で自らアイデアを出し、
稼働率の改善に意欲的に取り組んでおりま
す。こうした相乗効果が売り上げとしての数字に
表れています。
今後、備後圏域ナンバ1の工場にしてい
地域の工場の5Sのお手本となるように努めます。

この「人」に聞く

株式会社内海機械

社長

内海 和浩氏



5Sの実践で工場をショールーム化
超短納期をさらにブラッシュアップ

(株)内海機械(府中市鵜飼町743-1)
1、内海和浩社長、資本金4980万円
は、昭和24年に織機メーカーとして創業。
その後昭和47年に木工機メーカーに業態
変更し、平成7年には工作機械メーカー
として現在に至る。時代の流れとともに
変革を進めてきた内海機械。現在は、多
品種を単品で、しかも超短納期で納品す
るために少数精鋭の技術者を擁して、高
品質の製品を提供している。従業員数は
13人、男性10人、女性3人、平均年齢32
歳という若いものづくり集団だ。
単品でしかも超短納期、高品質を掲げ
る裏側を3代目内海和浩社長に聞いた。

現場のアクセシビリティに対応

最近の傾向としては、量産品は安価に製作でき
ることから海外へ流れています。日本国内の製造業
にとって大きな課題です。
しかし、実際現場では発注ミスや部品が無くな
ったり、納期が間に合わないなど、どうしてもそん
なことが起こるのか分らないような事態が起ること
もあります。
こうした現場でのアクセシビリティから、単品、超短
納期の需要があります。この部分は海外へは移し
ようがありません。
そんなニッチな需要を超短納期納品に特化し取
組みを進めてきました。

理念に基づき変革

弊社の理念は、まず地域社会や顧客にとって必
要とされる会社であること、常に新しい価値創造
ができる「多能工」を育成し、卓越した経営規範
のもと、地域社会のニーズに素早く対応すること
です。

短納期にするために行ったことは

社員13人で19種類、127件の資格を取得して
います。入社1年目で10種類の資格を取得できる
ようサポートし、2年目以降もより高い資格を取
得できるようにしています。まさに「多能工」の
社員を育成しています。

採用試験では、受験者にはつきりと「何でもで
きるマルチな技術者を育成するので、これはでき
ません、これはやりません」というような人材は採
用しません」と伝えます。ですから入社後ミスマ
ッチで辞める人はほとんどいません。

自分の技術や能力を高めるためにもいろいろな
仕事をやってみようといったスキルの高い人材の
集団になれば、単品、超短納期で高品質は
実現しません。そこで、弊社では新卒しか採用し
ません。

業界最新鋭でハイクラスの設備導入

人材の育成も大切ですが、お客様のニーズに合
わせて複雑な工程にも柔軟な対応ができるよう常
に最新設備を導入しています。担当者だけが専門
的に操縦を覚えるのではなく、社員全員が新しい